



こんなに役立つ 敬老パス



敬老パスは命綱

私も妻も、ほとんど毎日敬老パスを利用しています。病院や地区センター、放送大学など、どこに行くにも、敬老パスがないと出られません。私にとって敬老パスはまさに命綱。本来なら無料にすべきだと思うのに、これ以上の負担増なんてとんでもありません。

上原哲雄さん(中区、87歳)

とってもうれしい敬老パス

若葉台に住んでいますが、買い物をはじめどこへ出かけるにもバスが必要なので、「敬老パスはとっても重宝するね」って近所の方たちと話しています。敬老パスがなくなったらお年寄りが元気でなくなるし、街の活気がなくなるのではないかと心配です。

小林恵美子さん(旭区、70歳)

これ以上の負担増はひどすぎます

叔母が「敬老パスで病院通いができて、とても助かる」と言っています。お年寄りのみなさんは、年金が減る一方で、住民税や医療費など今でさえ負担が増えています。これ以上負担をかけるのはひどすぎると、私たちの世代からも思います。

大山奈々子さん(港北区、40歳代)

市民アンケート結果から描かれる高齢者は…

敬老パスを使って、週に3~4日(35.3%)あるいは1~2日(33.1%)、日常の買い物(59.8%)、通院(59.7%)、趣味やレジャー(34.6%)、家族や友人に会いに(30.5%)行っています。

敬老パスを使うようになってから、バスや地下鉄を多く使うようになりました(かなり増えた26.2%、やや増えた32.3%)。

今年7月に「あり方検討会」が行った市民アンケート結果(抜粋)

◎敬老パスはどのようなことに役立っていると思いますか(複数回答)	70歳以上	20~69歳
交通費負担の軽減	67.0%	68.8%
社会参加の促進・生きがいづくり	41.8%	52.8%
高齢者の交通安全	41.4%	51.0%
高齢者の健康増進・介護予防	34.9%	45.9%
◎敬老パスの財政負担(市費負担額)についてどう思いますか。		
現在よりも財政負担を軽減すべきと思う	14.5%	31.6%
この程度の財政負担はやむを得ないと思う	60.2%	49.1%
もっと財政負担を増やして、さらに制度の充実を図るべきと思う	6.6%	9.5%

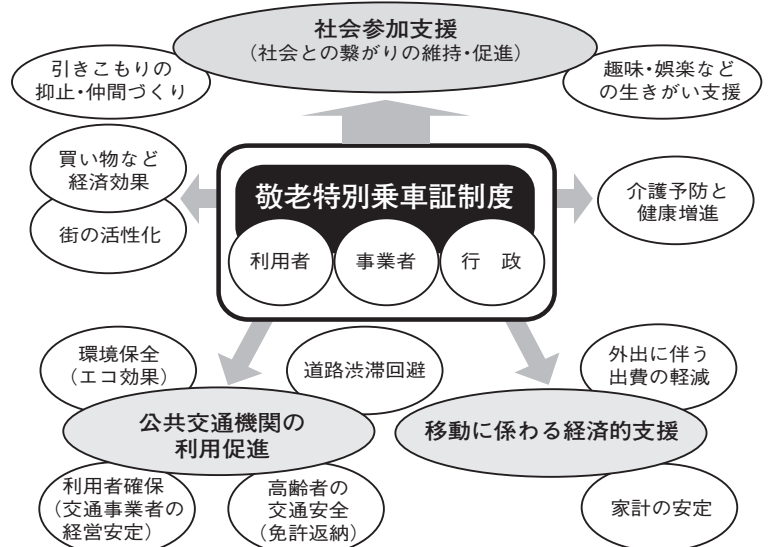
70歳以上の方:対象数2550人、回収数1582件、回収率62.0%

20歳以上70歳未満の方:対象数2550人、回収数1026件、回収率40.2%

地域経済の活性化やエコにも役立つ敬老パス

敬老パスは、高齢者が出かけることによって買い物などの経済効果や街の活性化にも役立っています。

また、公共交通の利用により、CO₂削減などエコ効果や、交通安全にもつながっています。



(あり方検討会提出資料より)

日本共産党はこう考えます

今まで社会貢献にご苦労されてきた高齢者を社会全体で支えていく“福祉の心”が、自治体として必要です。高齢化社会を迎え、高齢者の社会参加を支援し、福祉の増進を図るという敬老パスの目的が、ますます重要になってきています。

一方、老年者控除や定率減税の廃止、住民税増税や国民健康保険料、介護保険料の値上げなど、高齢者の負担増は年々大きくなっています。これ以上の負担増は避けるべきです。

高齢者が社会とのつながりをもって、生き生きと元気に暮らせる社会を、誰もが望んでいます。敬老パスの維持存続はもちろん、この制度の目的が活かされるよう利用者の意見を充分取り入れ、充実させていくべきです。



横浜市当局に申し入れ内容の説明をする日本共産党横浜市議団
2007.7.9 横浜市庁舎内

無料法律相談(弁護士が対応します)

市政、法律、交通事故、年金、金融、土地、住宅、教育、その他

- とき 毎週水曜日午後1~3時 **要予約**
- ところ 市役所内 日本共産党市会議員団控室
- 連絡先 ☎(671)3032(なお8月はお休みです)

みなさんの願い実現に力を尽くします



白井正子議員
(港北区)



河治民夫議員
(旭区)



関美恵子議員
(港南区)



中島文雄議員
(副団長・鶴見区)



大貫憲夫議員
(団長・青葉区)